



みんなと
地域の

福祉活動



目次

- 会長あいさつ・社会福祉協議会とは 3
- 小地域福祉活動とは 4
- 3つの始め方 6
 - ・活動その①「サロン活動」 6
 - ・活動その②「声かけ見まもり活動」 8
 - ・活動その③「みんなの会議」
(小地域福祉活動協議会) 10
- 支援・助成内容/登録にあたっての注意事項 ... 12
- Q&A 14
- 活動開始までのステップ 15

**みんなで支えあう地域
ふれあいのあるまちをつくりましょう!**



会長あいさつ

現在、高齢化の進行や少子化等により家族・地域関係等は変わり、地域福祉を取り巻く環境は変化し続けています。

私たちの住む港区では、近年子どもたちの人口は増えています。一方で他の地域と同様に高齢者の人口も増加しています。

地域の状況が変化していく中で、地域のつながりの希薄化、社会的孤立や孤立死、悪質な詐欺被害等の課題も多くあります。また、大規模な自然災害等を経験したことで、人とのつながりの大切さや地域のつながりの大切さを感じることもありました。

人とのつながり、地域のつながりは日々の小さな積み重ねによってつくり、より強くなっていきます。

港区社会福祉協議会では、身近な地域で、身近な気になることを、身近なみんなと、身近な活動でつないでいく、ということを大切に、地域のつながりづくりから進める活動「みんなと地域の福祉活動～小地域福祉活動～」に取り組んでいます。

私も地域みなさんと一緒に、地域のつながり、地域の絆づくりを進めたいと思います。ぜひ、一緒に進めましょう。



社会福祉法人
港区社会福祉協議会

会長 **柴山 義光**

社会福祉協議会とは

社会福祉協議会とは(社協)

社会福祉法第109条に基づき設置された社会福祉法人です。地域をよくするしくみづくり、地域の活動だけでは解決できないことを専門機関につなげる連携づくり、地域の中で困っている人に気づける人材育成など、住民のみなさんとともに進め、地域福祉活動を支援しています。

港区社会福祉協議会 がめざしているもの

「みんなで支えあう地域、誰もが安心して暮らせるふれあいのあるまちづくり」をめざします。

「支える・育てる・つなぐ」を基本方針に、さまざまな事業を推進しています。



小地域福祉活動ってなんですか？

住民にとって、身近でなじみのある日常生活上の地域で、その**地域の福祉課題**に対して、住民自身が主体的に、**自分たちができること**で協力し、行政などとも連携して解決しようとする**取り組み**のことを「小地域福祉活動」といいます。

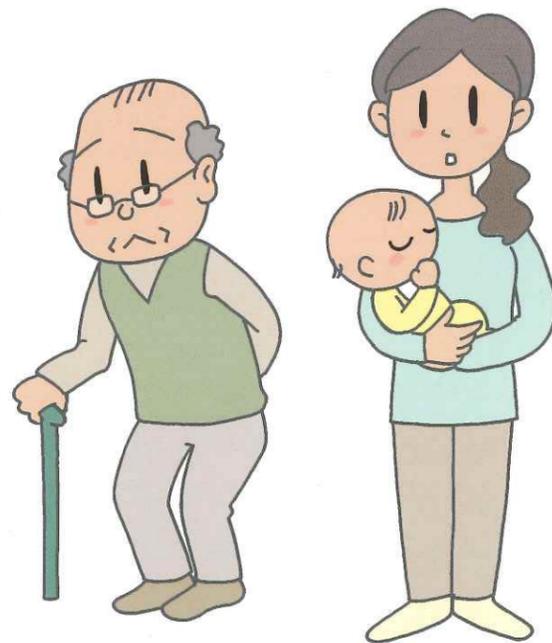


地域の福祉課題って… なんだかむずかしいんじゃないの？

地域にはたくさんの人たちが暮らしています。若い人も高齢者も、障害のある人もない人も、ひとり暮らしの人も、子育て中の人も、会社員の人も、自営業の人も…。

多くの人たちが隣人との関係を大切に、身近で支え合っています。それでも、「ちょっと気になること」や「私にもできることはないかなあ」と感じていることがあるのではないのでしょうか。

「福祉」という言葉を辞書で調べると「しあわせ・幸福」と載っています。



地域の福祉課題とは

地域のしあわせのためにちょっと気になること

こんな風に考えてみてください。

小地域福祉活動って… なんで必要なんですか？

私たちの生活はたくさんのしくみや福祉、教育、子ども、警察、消防…専門機関などによって支えられています。

しかし、**社会環境が大きく変化**し、高齢社会、核家族化や単身世帯の増加、無縁社会、孤立死、電話等による詐欺や悪質な販売被害…さまざまな課題が表れてきています。大規模自然災害発生時には、日頃からの**地域のつながりの重要性**を、多くの人たちが感じました。

身近な地域住民だから気づく、そこで生活する住民だからできる活動が大きな役割を果たして、より強く、より柔軟に、地域の福祉力が向上する**取り組み**が必要となっているのです。



地域住民だけで 取り組まなければならないの？

地域住民だからこそできる活動には、さまざまな効果が期待できます。しかし、限界があるのも事実です。すべてが小地域福祉活動で解決することはできません。

小地域福祉活動は、地域住民の活動と、公的機関や専門機関が**連携・協力して行うこと**が重要です。

地域でできることは地域で活動し、必要な時には公的制度で対応したり、専門機関が支援したり連携・協力して取り組むことがとても大切です。



**わたしたちは小地域福祉活動のことを
身近な地域で 身近な気になることを
身近なみんなと 身近な活動でつないでいく**

みんなと地域の福祉活動

と呼んでいます。

サロン活動

身近な地域で閉じこもりがちな人を対象に、サロン活動を通じてつながりづくりを進め、社会的孤立を防止する活動です。

特定の趣味活動やサークル活動ではなく、誰もが気軽に定期的に集まれる場を作り、閉じこもりがちな人に声をかけます。

つながりができてお互いを少し気にかけてくれる関係づくりが、ちょっとした変化にも気づき、必要な時の福祉サービスなどの利用や専門機関への相談に役立ちます。

子育て中の母親などの、育児に関する悩みや不安による孤立防止の活動も同様に対象としています。

地域組織等 町会・自治会、集合住宅管理組合等

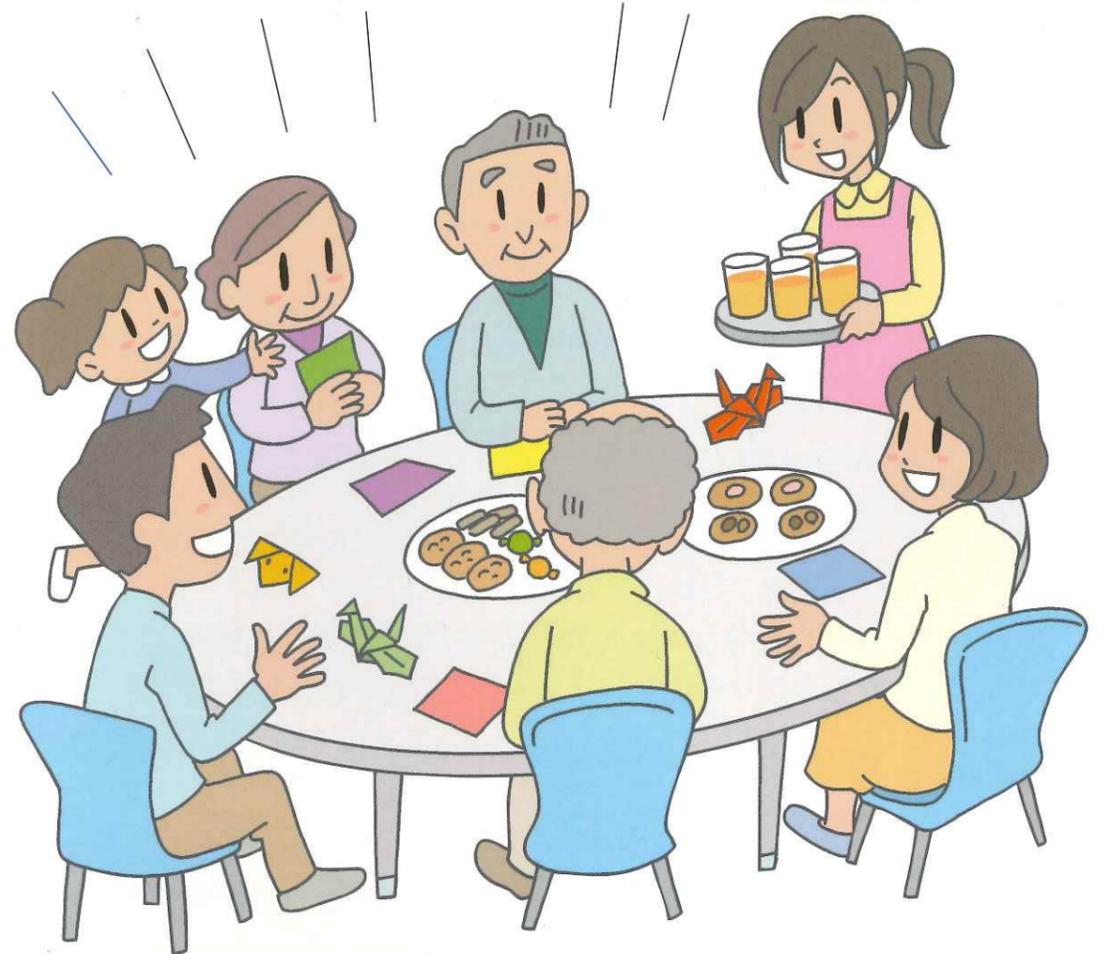
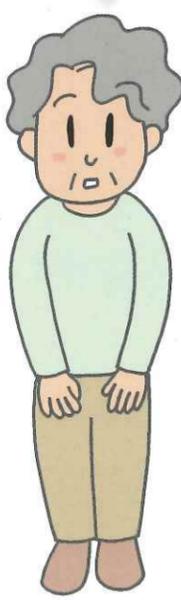
地域グループ 地域組織等以外の地域の任意グループ

外に出る機会も減って、
誰とも会わないで
過ごす日も増えたわ

うちの町会も
気軽に集まれる
機会があると
いいんだけどな...

同じくらいの
ママたちと知り合う
機会もないし、
情報交換ができる
といいな

うちのマンション
高齢者も増えて来たし、
日頃から気軽に行ける
集まりがあるといいな...



ここがポイント

定期的に人が集まる機会を作ることは、つながりづくりの第一歩。つながりづくりをきっかけに、閉じこもりや孤立の防止、いろいろな情報を伝え合うことで防災・防犯活動、体調変化などの時の福祉サービスなどの利用にもつながります。

最初は断られてもちょっと声をかけて、気にかけてほしいあの人を誘って、ゆっくりとつながりづくりをしていきましょう。

まずは、簡単にお茶とお菓子を用意して集まってみましょう。プログラムを用意しなくても、みんなで集まると自然と会話が生まれます。集まって話をするを活動の中心にしながら、時々別のことを取り入れてもいいかもしれません。

また、1年に何度か専門機関の人の話を聞く機会を作ることで、その機関や職員とつながりを持つことができます。

子育てママなどのサロン活動も、地域の町会や自治会が連携してみると、若い世代とのつながりづくりをする機会にもなります。地域の将来を支えることにつながるかもしれません。

年に何回か、世代を超えた交流の機会をサロン活動につなげてみると、幅広いつながりづくりになっていきます。

声かけ見まもり活動

地域に住んでいる人たちが、地域にあった方法を工夫して、ゆるやかに声かけ見まもることによって、普段から顔の見える関係をつくりご近所の関係を広げていきます。

地域組織等 町会・自治会、集合住宅管理組合等

サロン活動を通じて知り合った人に、サロンのない日に電話や訪問などを行い、サロン活動に見まもり効果をプラスします。

また、サロンに来られなくなった人に対しても同様に電話や訪問などを行うことで、今までの関わりやつながりを生かし、工夫して声をかけ、見まもります。

地域グループ 地域組織等以外の地域の任意グループ

近隣の人ちょっとした変化や異変に気づきやすく、社会的孤立の防止や防災・防犯等に役立ち、互いに気にかけてあえる地域づくりをめざしていきます。

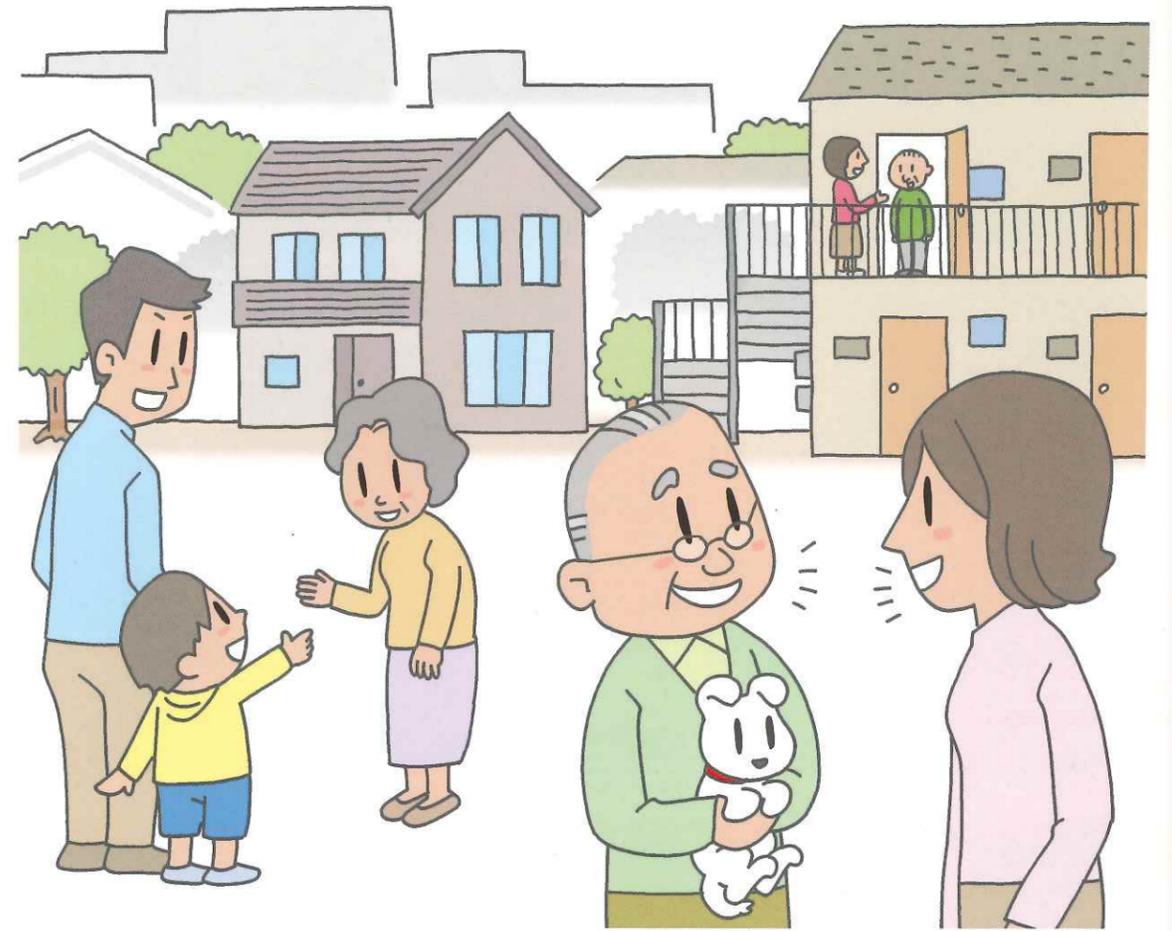
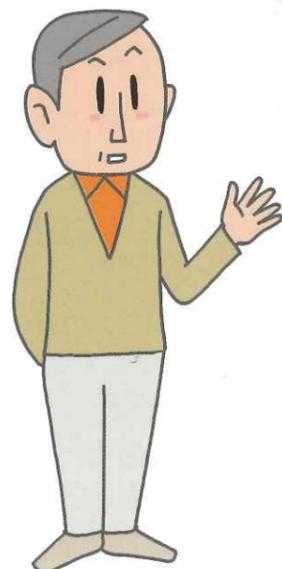
いつも買い物に来ていたおのばあちゃん。最近見なくなったな。どうしているのか心配だな

普段から近所の人とあいさつができる関係だと安心だわ...

日常のつながりが防災、防犯にも役立つぞって聞いたぞ

サロンに参加していた〇〇さん。来られなくなって、会う機会も減ったわね。元気がどうか気になるわ...

サロン活動がない日に様子を知ることもしれないわ



ここがポイント

最初は、あいさつすることから始めてみましょう。普段の生活の中で、気にかけてたい人に声をかけることから始めることがポイントです。

地域組織等で活動をはじめる場合は、地域の状況に合わせて工夫していくことが大切です。地域のイベントのチラシや、ちょっとしたお知らせなどを持って訪問するのも良いでしょう。

サロンに来られなくなった人を訪問したり、周りちょっとした距離のある人にも声をかけて、地域の中のつながりで、いろいろな気になることが少しずつ消えていくかもしれません。

高齢者や障害のある人への支え合いの声かけから、地域の子どもたちへの声かけに広がるかもしれません。地域でたくさんあいさつが交わされる街は、防犯にも効果があるといわれています。

町会自治会や、集合住宅内で、サロン活動をしているグループがサロンではない別の日に、いろいろな工夫をすることで声かけ見まもり活動が始まります。

無理せず、焦らず、ゆっくり、ゆるやかに進めていきましょう。

みんなの会議

(小地域福祉活動協議会)

町会・自治会、集合住宅管理組合等に福祉部や福祉委員会などの組織を位置付けます。地域のことをみんなで話し合い、ちょっと気になる福祉課題に、地域でできる活動で取り組みます。

活動の前にみんなで考えたり、学んだりするところから始めたい…交流イベントを通じてサロン活動や声かけ見まもり活動につなげたい…いろいろな組み合わせも可能です。

専門機関とも連携して、地域に必要な活動で、地域のつながりづくりを進め、地域の福祉力の向上を目指します。

地域組織等 町会・自治会、集合住宅管理組合等

毎月難しいけど、みんなが集まれるサロンを試してみようかな

若い人たちも増えたわね。同じ地域に住むから交流したいわ

住んでいる地域には、どんな福祉の課題があるのかな

世代を超えたイベントで、昔遊びなら協力できるぞ

この問題…みんなはどう思っているんだろう…。地域で意見交換するところから始めたいな



ここがポイント

みんなの会議は、地域の福祉活動企画会議です。「企画会議なんて…わからない」と難しく考える必要はありません。まずは、地域でどんなことが気になるか、どんな活動を試みようか…みんなで意見交換してみましょう。活動は地域の状況や地域のペースで進めることができます。専門機関と連携して町会・自治会、集合住宅管理組合等の中で、できることを、できる人たちと一緒に取り組みを進めていきましょう。

○月1回のサロン活動は難しい → **年数回企画して開催してみよう**

○自分たちの地域にあった活動ってどんなところがあるのかしら → **他の地域の事例を聞いてみよう**

○専門機関とつながりを持ちたい → **専門機関に来てもらい話を聞こう**

上記のほかにも、社協がみなさんの活動をお手伝いしています。

支援内容

活動を始めてみたい人から、活動をしている人までしっかりとサポートします。

①活動を始める前は

- 必要な情報の提供や立ち上げ支援
 - 運営に関する情報提供
 - 他地区の活動情報の提供
 - 活動見学
- 入門講座を開催



②活動を始めてからは

- 活動に関する相談支援
- 行政や専門機関への橋渡し
- 活動費用の助成（要登録）
- 傷害保険の加入（要登録）
- 活動を理解し活動に活かす講習・講座を開催
- 活動者同士の情報交換会を開催



③活動をさまざまな人へ知らせるために

- ホームページによる活動紹介発行(月1回)
- 広報紙「みなと社協」への紹介記事掲載(毎号)
- 活動紹介リーフレット(A3版)発行(年4回)



その他にも社協のコーディネーターが出向いて支援しています

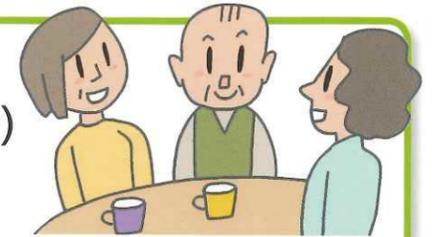
活動助成の内容

①サロン活動

月に1回以上の活動を実施（年12回以上）

1回の活動 2,000円(上限 35,000円)

登録初年度のみ「活動立上げ支援助成」10,000円



②声かけ見まもり活動

月に3回程度の活動を実施（年32回以上）

地域組織等⇒20,000～65,000円(人数区分に応じ)

地域グループ⇒20,000円



③みんなの会議

定期的な打ち合わせや活動を実施

30,000円

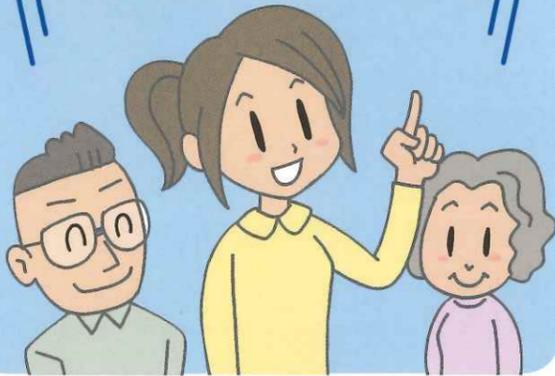
※地域組織等を対象とした活動です



登録にあたっての注意事項

- 原則、地域内の誰もが参加できるものであること
- サロンの活動内容など特定の趣味や知識、技術の向上が目的ではないこと
- サロンの参加費等を徴収する場合は低額であること
- 活動参加者等のおおむね8割以上が港区民であること
- 活動を実施する場所の正式な使用許可・使用料の支払いなど適切な処理を行うものであること
- 違法、不当、不適切な行為など、公序良俗に反する行為を行わないこと
- 政治活動、宗教活動、販売勧誘等営利活動は行わないこととし、それらの誤解を受ける活動も行わないこと
- 個人情報やプライバシー保護について適切に配慮し、活動等を通じて知り得た秘密等は他へ漏らさないこととし、活動等を離れた後も同様とすること
- 活動に関係して生じる事故やトラブルは当事者間で解決すること
- 活動の運営等は、小地域福祉活動の趣旨に沿って活動参加者等が協力して行うこと

その質問に お答えします。



地域の福祉って…
何からはじめればいいのか？

まずは、地域の福祉課題を知ることからはじめてみませんか。地域のみなさんと意見交換すると、今まで気づけなかったことも出てくるかもしれません。

課題にはすぐに解決できそうなもの、時間をかけて解決していくものなど様々です。社協では地域のみなさんと一緒に福祉課題を整理するところからお手伝いをしています。



誰か一人の負担が大きくなるか心配だわ？

活動はそれぞれができる役割を担ってもらいましょう。みんなで協力してお互い支え合うことが活動を長く続けていくコツです。

活動に悩んだ時には、参加者みんなで話し合うと意外な知識や特技を持っている人もいるかもしれません。

運営・活動内容の相談等社協にいつでもご相談ください。



声をかけたけど断られてしまいました。どうしたら良いのでしょうか？

活動を進めていくなかで、人によってはあまり「関わって欲しくない」と思っている人もいます。無理して誘わずに、相手の気持ちを大切にすることも必要です。

そっと見まもり、さりげなく関わることで「困ったことがあったらいつでも相談してくださいね」とメッセージを発信しつづけて、ゆっくりと関係を築いていきましょう。



地域で同じような活動をしています。登録はできますか？

社会的孤立の防止、地域の声かけ見まもり、町会・自治会等での地域福祉活動など、すでに同様の活動をしているみなさんもいらっしゃるかもしれません。

港区の中で、同じ想いで活動している人たちが、つながって、情報交換したり、連携することがとても大切です。

相談・登録については社協へお気軽にご相談ください。



地域の福祉活動では個人情報を集めないで活動できないのでしょうか？

地域の福祉活動を開始するのに、個人情報を集めなくても活動を開始することはできます。

活動はみなさんが気にかけている人を中心に、誘ったり、声をかけたりすることからはじめます。

しかし、人と人の関係づくりをしていくときに、大事にしなければならないことがあります。

どんな活動でも、知り得た個人の秘密はみだりに口外しない、活動を通じてできた名簿等の管理には細心の注意を払って紛失事故等が起こらないようにし、人と人の関係を大切にすることを心がけていくことが大切です。



活動開始までのステップ

みんなと地域の福祉活動「想い」が「活動」になるまで

1 地域のことが気になる

地域を気にする「想い」はあるけど…どうしたら良いのかな…



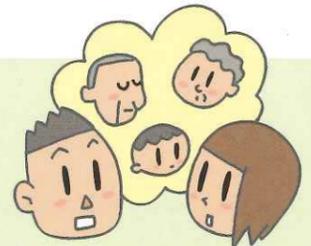
2 想いを共有すると…仲間ができる

気になっていることを、身近な仲間と共有してみると…同じ想いを持つ人が出て来るかもしれません



3 どんなことができる!?

同じ想いを共有できた人と、どんなことができるか、気になる人・心配な人は誰か思い浮かべてみましょう



4 活動開始!! そして連携…

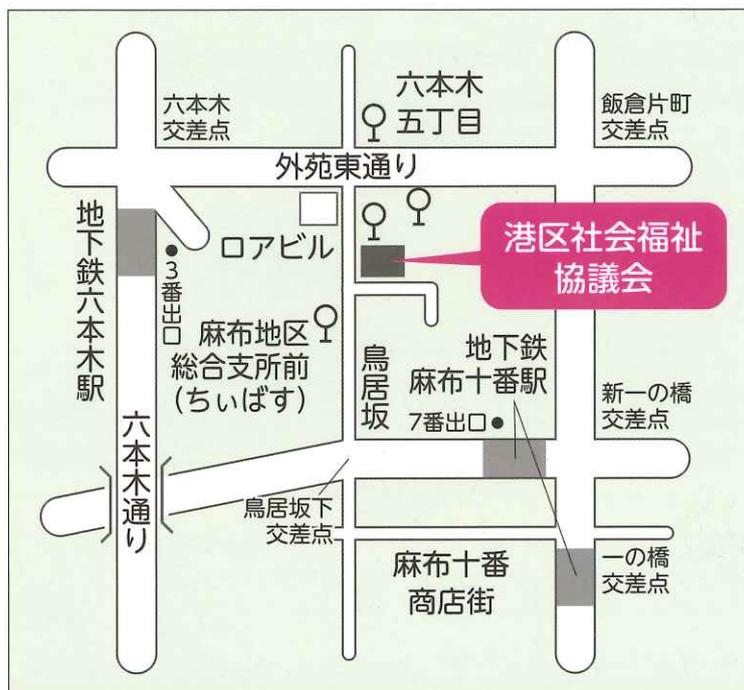
活動はみんなで楽しく進めます。専門機関の人とも連携を図ります



5 社協はいつも地域のそばにいます

活動をはじめる前から、はじめた後までみなさんのペースに合わせて支援します





開設時間

月曜～金曜日 午前8時30分～午後5時15分(土日祝日・年末年始を除く)

住所

〒106-0032 港区六本木5-16-45 港区麻布地区総合支所2階

ホームページ <http://www.minato-cosw.net/>

E-mail chiiki@minato-cosw.net

TEL.6230-0281 地域福祉係

FAX.6230-0285

交通機関

- ・東京メトロ日比谷線・都営大江戸線「六本木駅」下車 3番出口 徒歩6分
- ・東京メトロ南北線・都営大江戸線「麻布十番駅」下車 7番出口 徒歩10分
- ・港区コミュニティバス(ちいばす)麻布東ルート・麻布西ルート・田町ルート「麻布地区総合支所前」下車



港社協マスコットキャラクター
みーしゃ

「みんなと地域の福祉活動」には、区民の皆様などからいただいた社協会費や寄付金、歳末たすけあい募金配分金などが活用されています。